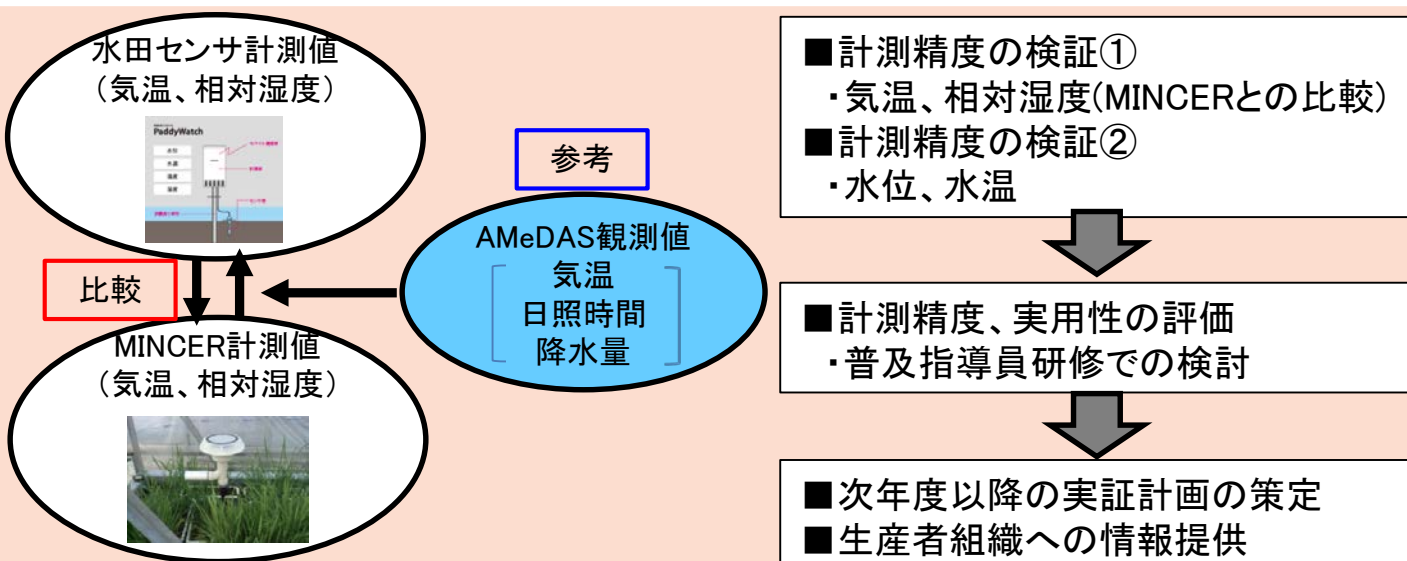
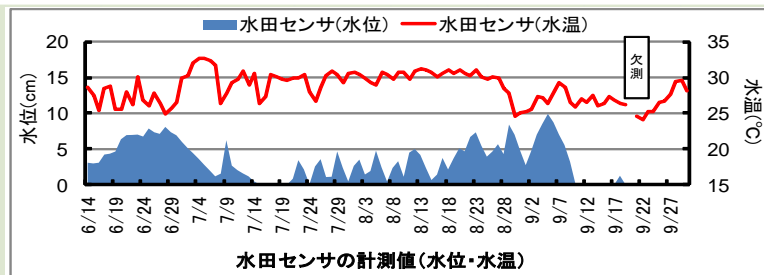
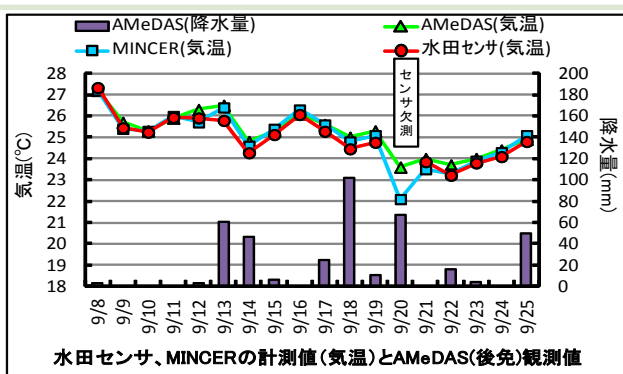


- 大規模稲作農家では管理圃場数が増加し、水管理は大きな負担。
- 他方、ブランド産地内での食味・品質の高位平準化、圃場間差の是正には、栽培法(施肥法等)の統一や適正な管理が重要。
- 水田環境(気温、水温、水位等)が同時に計測でき、情報がリアルタイムで提供される「水田センサ」に対する生産者の高い関心。
- 省力化、食味・品質の高位平準化への寄与が期待される「**水田センサ**」の計測精度を検証し、その高い計測精度を確認。

## 実証の取組イメージ



## 実証の成果



## 革新支援専門員の活動

- 水田センサとMINCERの計測値は概ね一致。
  - ・ **水田センサの計測精度が高いことを確認**
  - ・ 降雨のあった日は、水田センサではMINCERに比べて気温が低く、相対湿度が高い傾向
- 水温、水位も高精度で計測。
  - ・ 欠測となったのは109計測日のうち1日

- 農業技術センターと連携したデータ収集(複数の計測機器の使用)
- 普及指導員研修での計測精度の検討と生産者組織への情報提供